発泡ウレタンソフトF　取扱説明書

この度は、「発泡ウレタンソフトF」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本紙は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。本製品を安全に、正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読み下さい。また必要なときにいつでもご覧いただけるよう、大切に保管して下さい。

安全にお使いいただくために

※本紙では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を、次のように記載しています。
注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを示しています。

⚠ 注意	**取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」を示しています。**

⚠ **注意**　健康に有害な物質を含んでいる。

■当社で指定した以外の薬品類とは絶対に混合しないで下さい。化学反応を起こす可能性があり大変危険です。
■他の容器への移し替えはしないで下さい。誤飲事故の原因になります。
■子供の手の届かない所に保管して下さい。
■充分に換気のできる場所で使用し、蒸気は吸い込まないようにして下さい。
■取扱い中は、皮膚に触れないようにして、保護めがね、保護手袋、前掛け、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスクを着用して下さい。
■取扱い後は、手、顔、首筋などをよく洗い、うがいを充分に行って下さい。
■本製品は、硬化する際に発熱します。やけどの恐れがあるため、取扱いには充分注意して下さい。
■作業着等衣服に付着した場合には、汚染された衣服を直ちに脱ぎ、石鹸水で完全に洗い流して下さい。
■容器からこぼれた場合には、吸着しやすいものに染み込ませた後、密閉容器に回収して下さい。
■皮膚に付着した場合には、石鹸水で完全に洗い流して下さい。
■目に入った場合には、15分以上洗眼した後、直ちに眼科医の診察を受けて下さい。
■蒸気・ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にした後、医師の診察を受けて下さい。
■誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けて下さい。
■保管に関しては、容器を密閉し、直射日光や火気を避け、涼しい乾燥した場所にて保管して下さい。
■容器は、中身を使い切ってから廃棄して下さい。
■やむを得ず原料を廃棄する場合は、主剤と硬化剤を混合し、硬化させ、充分冷えてから廃棄して下さい。
■廃棄物の処理方法は、お住まいの各自治体の指示に従がって下さい。

箱の中身を確認して下さい

■A液　250g（緑色ラベル）　■B液　100g（赤色ラベル）　■かきまぜ棒
■取扱説明書（本紙）　■ポリカップ×２

特長・用途

発泡ウレタンソフトFは、常温硬化が可能で硬化収縮が小さく、クッションや人形など各種成形品の製作にご使用できます。

性　状

項目		発泡ウレタンソフトF
外観（製品）	A液	透明液状
	B液	淡黄色透明液状
硬化物色相		白色
主成分	A液	変性ポリオール
	B液	4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート　1%以上
代替フロン含有		無し
配合比	重量	A：B　＝　100:40
可使時間	23℃	45～55秒
硬化時間	23℃	10～20分
硬化発熱温度	50gスケール	約80℃
硬さ		軟質(スポンジ状)
比重		0.10　～　0.16
発泡倍率（目安）	倍	5　～　10
危険物区分（消防法）	A液	第４類第４石油類
	B液	第４類第４石油類

注1）上記特性値は、温度や作業条件等により変化しますので、数値はあくまでも目安として下さい。
注2）本製品の硬化物は、直射日光の照射や経時変化により、黄色く変色します。

正しくお使いいただくために

本製品を正しくお使いいただくためには、ウレタン樹脂の特性を理解することが必要です。

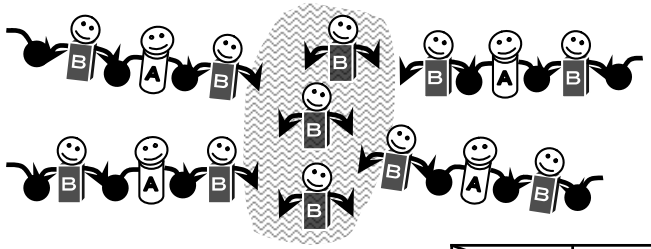
ウレタン樹脂の特性

ウレタン樹脂は、主剤（ポリオール成分）と硬化剤（イソシアネート成分）の2つの成分を混ぜ合わせることによって、化学反応を起こして硬化します。

主剤（ポリオール）　硬化剤（イソシアネート）

主剤、硬化剤ともに反応する部分（手）を2つ以上持ちます。2つの成分がお互い手をつなぐことによって、液体から固体に変化します。

混合比とは、2成分の手の数がぴったりになる割合の事です。ウレタン樹脂の混合比は、重さの比で表示します。
混合比のズレがあると、どちらかの成分が余ります。余った成分は、手をつなげられないので、いつまで経っても、硬化物が柔らかかったり、ベタついたり、固まらなかったりします。この状態を硬化不良といいます。
また混合比のズレがなくても、2液が均一に混合・撹拌されていない場合も硬化不良となります。



ウレタン樹脂の反応性は、使用する樹脂の量、形状、作業温度（室温度、液温度）によって異なります。
冬場など低い温度では、反応性が悪いため硬化しない恐れがあります。また、夏場など高い温度では、反応性が良くなるため、可使時間等が短くなります。

	良い　反応性　悪い
樹脂の量	多い　＞　少ない
形状	球状　＞　板状
温度	高い　＞　低い

使用条件

下記の条件で使用して下さい。

◆湿度：70%以下
◆室温度・液温度：18℃以上
◆硬化剤の混合比精度：±5%以内

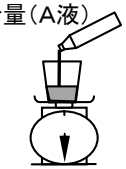
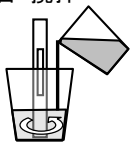
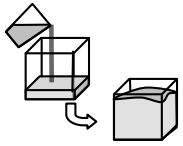
（弊社推奨温度：20～25℃）

《取扱い上の注意事項》

★容器から必要量だけを取り出し、すぐにフタを閉めて下さい。
★吸湿の恐れがあるため、取り出した液体は長時間放置せず、早めにご使用下さい。

使用方法

次の物を別途用意して下さい。
■はかり（推奨：最低目盛1gのもの）

①計量（A液） 	ポリカップなどの容器に、A液（緑ラベル）を計量します。 ※1回の使用量が多い場合は、付属のポリカップでは入りきらないので、別途容器を用意してください。
②計量（B液）	別の容器にB液（赤ラベル）を正確に計量します。 A液とB液の混合比は、重量比で100：40です。 混合比を間違えると、固まらないなど硬化不良の原因になりますので、慎重に計量作業を行ってください。
③混合・撹拌 	A液の入った容器にB液を流し込みます。 次に付属のかきまぜ棒を使い、液体が均一に混ざるように、10～20秒程度すばやく撹拌して下さい。撹拌不足は硬化不良の原因になります。 混合容器の側面や底は混ざりにくいので、特に注意して撹拌して下さい。
④注入 	撹拌後すばやく、型・容器などに流し込んで下さい。可使時間を過ぎると発泡してきます。（発泡倍率5～10倍） ※化学反応により樹脂は高温になりますので、脱型時まで触らないようにして、火傷をしないように注意して下さい。また、反応時の蒸気・ガスなどを吸わないようにして下さい。
⑤脱型	10分間放置した後、型から取り出します。 ※硬化物は、直射日光の照射や経時変化により、黄色く変色します。

その他

■品質管理には万全を期しておりますが、新品の状態で、原料中に異物が混入していたり、原料が変質している場合は、ご購入された販売店または弊社までご連絡下さい。
■改良のため、製品の仕様を予告なく変更する事があります。
■本製品がお客様の用途に適しているかどうか、充分ご検討のうえ、お客様の責任でお決めいただくよう、お願いします。また、詳細な用途やその使用条件などは、弊社が管理できる範囲外のため、責任は負いかねます。
■この商品は国内向けです。日本国外に持ち出される際は、事前にご相談下さい。
■詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート（M.S.D.S.）をご参照下さい。

プラ　紙
外箱　カップ　かきまぜ棒　台紙　取扱説明書

製造販売元　**日新レジン株式会社**
〒245-0053　神奈川県横浜市戸塚区上矢部町2280番地
TEL　045-811-1093　FAX　045-811-0422

2008/02/21①